

Hannan
情熱
構想

第一策 阪南の『民主主義』のあり方を徹底的に見直す！

盛土の一件で、私の感じた「恐怖と絶望」。これを改めます。

これは、『由らしむべし、知らしむべからず』からの脱却です。阪南の『民主主義』のあり方を徹底的に見直すことは、「市民参加と情報公開」を徹底して見直し、 α となる全国初の取り組み等も行う。また、情報が届かない方々へ情報を届けることも必要です。賢明なみなさんは、情報が入れば、自ら判断・行動をされます。知らない・分からないから、無関心でいるほかない訳です。基本的に、どのような会議でも「フルオープン」です。

全国をみれば、すでに予算編成に市民が参加しています。地方議会でも、市民の演説やマニフェストの検証や作成にデジシムという市民参加のプラットフォームを利用し、市民参加を行っている事例もあります。もっと市民に寄り添い、情報を共有し、優れた知恵を引き出し、イノベーションを引き起こしていかなければなりません。

意向調査等で、住民が考える地域課題の抽出や優先順位の把握、行政のズレを修正し、みんなのベクトル合わせ困難を克服していくことも必要です。

表面のような「異常値」を見付けたら、スイッチを切り替え、一旦立ち止まり、合意形成の厳格化やより一層の情報提供に努め、今後のあり方を市民のみなさんとともに見出していくことも、とても重要だと考えます。

1. 徹底した情報公開

2. 「従来の市民参加」の見直しと「新たな市民参加手法」の導入

3. 地方自治法の権限を最大限発揮する二元代表制(議会と首長)の構築

4. 異常値を見つけたときの一旦停止とスイッチの切り替え

5. 劣化・形骸化しないよう市民の合意形成過程の絶え間ない見直し

Hannan
情熱
構想

第三策 大規模災害に備える！

⇒大阪府内過去最大のため池災害は、阪南市鳥取ダムの決壊で51名の死者・行方不明者。

阪南における盛土の件で、当時、全国の土砂災害地域をまわりました。この目で、この身体で、見て、感じてきました。現場で、風に吹かれ感じたことは、「まさか、ここで何十人も亡くなったのか・・・」ということ。

災害リスクを見極め、低減する取り組みを行う。大規模災害時の初動から復興までを府民」のみなさんとともに何度も見直すこと。子どもたちに、昭和27年7月水害の鳥取ダム決壊など、地元の自然災害等をしっかり伝承すること。

初動の自衛隊、警察、消防、消防団のみなさんの連携、自治体庁舎が被災時の超対応、全国から応援に駆けつけてくれる自治体職員やボランティアの対応、現場に出張 TENT を置くなどして罹災証明書・被災証明書発行等の先進的取り組み事例の修得。どれだけ準備しても「想定外」があることを想定する。

2018年 台風21号 田尻町の被害 ←

10. 各事業・施策の災害リスクの見極めとリスク低減の取組

11. 大規模災害時の初動から復興までを府民のみなさんとともに何度も見直す

12. 過去の大規模災害から学ぶ、想定される足りない機材等の補充

13. 子どもたちに、地元の自然災害の伝承と命を守る教育

1期4年で約2千万円弱にもなる市長の退職金条例の規定を廃止する！

Hannan
情熱
構想

第二策 市町村M&Aと広域連携を推進する！

府議会で議員立法として、基礎自治の機能強化条例を制定。私がこの条例作成に参画した理由は、第一に今後の激しい地域人口の減少と消滅可能性都市という現状で、将来に渡って行政機能や行政サービスを安定させること。第二に、南海トラフ巨大地震など大災害時に対応可能な行政の規模を維持しておくため。第三に、世界の国際空港・地元地域は、行政として1つであり、国際空港と一体となって成長し国際競争力をつけている。関空と地元・南泉州地域が、世界の例外になる必要はなく、我々の世代が協力し、現状を打破し、限界を突破し、世界と競い合い、世界とわたり合える南泉州地域を創り出すためでありました。

阪南における今後の激しい人口減少と消滅自治体、大規模災害への対応として、まず自治体の規模を大きくし、行政機能をはっきりと安定させる。『市町村M&Aと自治体の広域連携』を推進します。これから10年以内に、市町村M&Aと広域連携の案をみなさまに提示します。その案は、南泉州地域のこれからの進む方向性と選択肢です。みなさまにご判断を頂く機会を作ります。市町村M&Aは、泉佐野市以南で可能なことと行います。近畿で最大規模の自治体である和歌山県田辺市の合併時のように、すべての事務事業を記載した表をつくり、それぞれの市や町の行政サービスはどうなるのか明記し、公表。みなさんが判断できるよう詳細な資料を作

20. 教員の負担の軽減と授業で勝負できる環境整備

21. 恒常的に次世代の声を聞く仕組みを作る

22. 子ども・保護者が、阪南で育つメリットを実感出来る大胆で尖った施策の実施

23. 阪南で育ったことを誇りに、世界に目を向けられる機会を創出する

Hannan
情熱
構想

第四策 少子化に抗（あらが）う子どもたちが増えるまちを模索する！

この取り組みに成功していれば、わが国の激しい人口減少も、消滅可能性都市も、このような地域課題はなくなります。しかし、**全国どの自治体も成功していません**。最難関です。若い女性が大都市部へ出てしまうことに由来するといわれています。少なくとも、豊岡市等が詳しい分析を行っているので、抗う方向性は共有し、みんなで知恵を出し合い、試行錯誤をしていく地域でありたいと思います。本音は、可能な限り結果を出し、日本を牽引する地域を目指したいと考えています。

また、この部分の取り組みが薄いため、「**全国ワースト2**」だと考えられます。早急に、近隣自治体のサービス水準とあわせることです。

14. 恒常的に子育て世代の声を聞く仕組みを作る

15. 最低限近隣市町と同程度の行政サービスを維持(日本ワースト2対策)

16. 先進的な分析を行っている自治体の知恵を借りる

17. 未知の施策を実施する分野

18. 「日本ワースト2」早期脱却

19. 保護者が市町で子育てするメリットを実感する大胆な施策実施

泉佐野市長と阪南市長の報酬・退職金比較			
財政非常事態宣言時～			
千代松・泉佐野市長		2011年4月	2023年4月
		？	？
		2023年3月	
	年間報酬額	8,970,144	10,315,664
	退職金支給額	0	条例規定削除
財政非常事態宣言時～			
水野・阪南市長		2016年11月	2021年4月
		？	？
		2021年3月	
	年間報酬額	12,282,432	11,352,600
	退職金支給額	0	支給額「0」だが、条例規定は残り、任期4年に1度
			18,360,000

日本ワースト2位に相応しい市長報酬に見直す！

Hannan
情熱
構想

第五策 次世代が、力強く育つ

元学校の先生に教わりました。阪南は単に自然豊かだけではないんだと。「**生活圏**」に、あらゆる自然環境が溢れているんだ」と。滝やたくさん池、川に干潟、海に山・・・。

また、阪南の誇りである衆議院議長や東京オリンピック陸上で入賞された方などを伝承しないと。学校の先生が、授業中にチョットした小話（余談）で、児童・生徒さんたちに、地元の誇りをお話し出来るようなネタ集、また子どもたちがその自然環境のなかで育ち世界に羽ばたく意義をしっかりと構築します。

泉鳥取高校

しんくう翔南高校と統合し、校舎は閉校を迎えます。生徒さんたちは盛大に送り出してあげたいと思います。

学校は、可能な限り阪南で表面管理を担えるよう大阪府と交渉し、市危機管理部門等の山手移転、起業のスタートアップ時の格安オフィスとサポート、屋内での利益率の高い野菜等の栽培や陸上養殖への貸出、受験生の自習室、資格試験等の大人の自習室貸出・・・、可能な限りのアイデアで、泉鳥取高校舎は、阪南で表面管理を担う。

仮に、泉佐野から岬までの市町村M&Aが成立すれば、泉佐野市の鶴原から岬町の小島までの中間地点は、泉鳥取高校です。将来の市町村M&A後の本庁舎の提案場所として、泉鳥取高校舎は阪南市で死守したいと考えます。使われていない公共施設の活用についても、同様に資産活用を考える。

Hannan
情熱
構想

第七策 温暖化・カーボンニュートラルへの対応

緑化や草花、景観創出なども、この項目で考えてみたいと思います。また、大きく考えれば、エネルギーのあり方が根本原因であるので、**水素**の製造やその関連企業等の支援や誘致を目指し、関空島には岩谷産業の**水素**ステーションもありますので、右図のような**水素**の循環を行い、大阪湾沿岸でカーボンニュートラルの達成を目指す。**水素**の特許は、わが国がダントツ。**水素**の資源国家となるべく、自前主義の努力が必要だと考えます。

左図は、**温暖化**で、大雨の降る仕組みです。空気は温かくなるほど、多くの水蒸気を含むことが出来ます。温暖化は、「ししおどし」の筒が太くなることに例えと分かりやすいそうです（左は、東京管区気象台の図）。**筒が太くなった「ししおどし」**は、温暖化前に比べ傾くまでに時間がかかるため、無降水期間が長くなります。そして、傾いたときにこぼれる水の量は多くなるため、**一度に降る雨の量は増加し大雨となります**。つまり、温暖化により全体の雨量は大きくは変わらないものの、**今よりも極端な雨の降り方になる**と予測されています。

このような温暖化に伴う気象の変化から、土砂災害や河川の氾濫などは、昔よりも注意を払わなければならないのです。

向かうべき方向性の【キーワード】

美的条例、水素の循環、大阪湾沿岸でカーボンニュートラルの達成、水素の特許はわが国がダントツ、水素の資源国家へ自前主義

Hannan
情熱
構想

第六策 南泉州地域で、世界トップレベル全国トップレベルの仕事もある！

そういう環境を創り出し、人を育てる！
阪南を育てる！

この視点からの仕事の見直しと行政革命も行う

南泉州地域の各自治体で金を出し合い、世界の国際空港・地元地域のあり様を調査・研究し、その報告書を地元府民に知らせてみる。**地域みんなで、国際競争力を高める地域のあり方**を知り、取り組んでいく。

また、自治体内の部署が取り組んだその年度の特徴的な施策等は、評価機関へ出してみる。**全国の自治体と善政競争**を行い、南泉州地域の各自治体が、全国に先駆けて前に進めるような賞等を受賞した部署は、翌年度の当該職員のボーナスをアップし、市民に成果を公表する。職員の学び直しを奨励し、夜間・休日社会人大学院等へ進学する職員には補助をする。人の成長支援・調査支援を行う。

国や府、近隣自治体や先進自治体、民間企業等へ、職員の派遣・受入れを行う。

私自身も**マニフェスト・サイクル**を回し、**マニフェスト大賞**に応募し、全国のトップレベルを毎年把握し、そういう人物に会い、意見交換し、自身の政治活動に活かし、**絶えずバージョン・アップを繰り返す**ていく。

24. 世界の国際空港・地元地域のあり様を調査・研究・情報共有し、目指す方向の実現

25. 全国の自治体と善政競争へ参画

26. 評価機関で自治体受賞チームに報奨金と公表

27. 奨学金返済や学び直しへの支援

28. 自治体・企業等との相互派遣

29. 私自身のマニフェスト・サイクルと恒常的なバージョンアップ

30. 新たなより重要な裁量的業務に取り組むため、別の裁量的な業務の見直し(裁量的計画や条例等)

31. 大阪府からの権限移譲の見直し

32. 近隣自治体や全国類似団体との比較

33. 評価制度や外部監査の有効活用

34. 特別顧問・特別参事等外部人材登用制度創設

35. 資金調達手段の多様化

Hannan
情熱
構想

第八策 人口減少に対応する

少子化に抗いながらも、激しい人口減少へ対応は、もうはや欠かせません。アクセルとブレーキを同時に踏むような政策的な違いはあるものの、対応せざるを得ません。しかし、作成して感じたのですが、「人口減少に対応する」ことは、結果として「人口減少に抗う」循環を創り出す可能性があると思います。さて、**2050年**くらいには、地元府議の選挙区である田尻町・泉南市・阪南市・岬町の**人口はピークの約43%減少**し、特に、岬町では7割減、阪南市では5割減が想定されています。単純に考えて、市街化区域はその割合で「空き家・空き地」に。**単純計算で、この地域は「甲子園球場394個分」の土地が、あいてくる**計算になります。公共施設も過剰になります。ピンチはチャンス、空き地はまとめることはできないだろうか？企業や何かの誘致場所に使えないだろうか？、思いを巡らせ**選択肢を確実に持つ時間が、これからの時間**になります。人口減少に対応しながら、民間不動産・土地活用事業や土地開発公社、公営企業、コンパクトシティ等、**様々な手法を駆使して、反転攻勢をかけられる選択肢を、この時間帯に見出す**。

大きな公共用地等は、売却ではなく、賃貸を優先します。唯一、阪南市として自ら方向性を持った企業誘致等が可能のためです。

44. 本庁舎を含め公共施設の見直しと民間代替施設の模索

45. 公共施設と民間手法の協働

46. 規模の大きな公共用地は唯一自治体で方向性を持ち企業誘致できる土地なので売却はせず、貸出

47. 駅周辺等の土地の高度利用を促すため、容積率・建ぺい率の緩和等、規制緩和の検討や幹線道路沿いの土地活用を促すため公共下水接続へのあり方を検討(参考岩出市)

48. 市場化テストのみならず、自前主義で公営企業化もかならず検討する(バスや大規模浄化槽等)(参考岬町のバス事業)

49. 農業安全保障・市内食料自給率を引き上げる

50. 市の取り組みが市域内の経済や雇用に波及するよう工夫する

以上、「はんなん八策」です。見にくい、分かりづらい等ありますが、『魂』を込めて作成しました。ご容赦ください、申し訳ありません。そして、徹底してみなさんの声を聞く姿勢を貫き通したいと思います。今回のご意見等はメールでお願いします。メールアドレス：t.doi@nifty.com